



TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB 東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30)

会 場 帝国ホテル及びオンライン

会 長 清宮 普美代

幹 事 高橋 肇

事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F

TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271

<http://blog.livedoor.jp/chuoshin/>

2020-2021年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」

例会報告 第787回 2020年10月5日(月) オンライン+対面例会

出席率 58.93%

出席と接続会員数合計33名+メンバー70名
(正会員61名-休会5名)

開会説明(海渡千佳会員組織委員長)

皆様 本日は対面とオンラインで例会を開催させていただきます。

なお、例会は当クラブ週報用の記録として録画を予定しています。参加者におかれましては個人情報の許諾をよろしくお願い致します。

清宮普美代会長 点鐘挨拶

皆様こんにちは!

対面でお会いできるのは今年度3回目になります。Zoomで参加の皆さんも一緒に時間を過ごしたいと思います。10月は米山月間ということで、地区米山委員会委員長の松尾様に卓話をお願いしました。又、対面でお会いできるとのことで慈恵医大の浅野先生もおいでいただいています。

ソーシャルディスタンスを保ちつつ、皆様と交流を図れればと思います。

それでは第787回例会を開始致します。

ロータリーソング

「君が代」「それでこそロータリー」

卓話者・ゲスト発表(安原良昭SAA委員長)

オンライン例会によくそご参加下さいました。

本日のゲストは7名様です。

- ・米山記念奨学委員会委員長
松尾 英子(まつお ひでこ) 様
 - ・同じく米山記念奨学委員会副委員長の
柳田 一行(やなぎだ かずゆき) 様
- 続きまして
- ・東京慈恵医科大学付属病院
浅野 晃司(あさの こうじ) 様
 - ・東京中央RC 太田 嘉正(おおた よしまさ) 様



・東京新橋RC 松井 秀文(まつい ひでふみ) 様
高橋幹事のゲストの2名の方をご紹介します。

- ・信賀 浩志(しんが こうじ) 様
- ・平沢 伸泰(ひらさわ のぶやす) 様

世界子どもサミット報告(明山(黒岩)友美会員)

多田会員の関与する平和活動として来年外務省後援の「世界子どもサミット」(2020年は8月11日(火)までYouTubeチャンネルにて内容を配信済)が開かれます。本例会場入口でピンクの袋のお茶を販売して活動資金集めをしておりますのでご協力よろしくお願い致します。

幹事報告(高橋肇幹事)

- ・本日はロータリーの友を配布しました。
- ・10月のスケジュールですが、
10月12日(月)はオンライン例会となり、例会後クラブ協議会となります。
10月19日(月)は振替休みです。
10月22日(木)はガバナー公式訪問合同例会が富士の間で対面とオンラインで開かれます。
10月26日(月)はオンライン例会です。

感謝状の授与(東京慈恵医科大学付属病院 理事 浅野晃司様)

浅野様から清宮会長へ本年4月と5月に実施の当クラブ医療支援プロジェクトに対する感謝状が授与されました。

(ご挨拶)

こんにちは。泌尿器科担当の理事浅野と申します。本日はコロナ禍の中で貴クラブから本年4月5月にマスク・フェイスシールド・防護服等をご寄付いただき一言お礼を申し上げたいと思い出席しました。

・コロナの経緯と現状を申し上げますと、日本ではダイヤモンドプリンセス号を契機としてコロナの診療が始まり、当院も複数名の患者を受け入れ致しました。

神奈川に停泊する船へ3回医師を派遣し、患者の受け入れも増え、4月の緊急事態宣言の数日前に40数名の大規模な院内感染が発生し外来患者をお断りし、手術を止め、救急も止め、約1ヵ月かけてやっと収束し、5月の連休明けにやっと落ち着いてきました。その間マスク・フェイスシールド・防護服はどんどん消費され、なかなか手に入らない状態になりあと1ヵ月で在庫もなくなるという時期に貴クラブから

防護服等のご支援をいただき大変ありがたく感謝いたしました。

院内感染収束後は、当院は積極的にコロナ患者を受入れ、本日も陽性の疑いのある患者が20名入院中で、今後もこの状態が続く見込です。

コロナのため病院の経営は逼迫中です。当医療法人は4つの病院がある学校法人が主体で、年間予算1070億円のうち9割が病院収入で、文科省の補助金も70億円程入っており、毎年の収支差額は30億円から60億円程度のプラスでしたが、現状は厳しくなっています。外来患者が例年2800人のところ2500人から2600人しか受けられず、1075床のベッドも例年85%以上の稼働率のところ今は75%程度に下がっています。2020年度決算も100億円程度赤字の見込です。今後政府の補正予算で赤字の3分の1程度の補助金が出る見込ですがとても足りません。状況は他の病院も同様で、皆耐えて頑張っているという実情にあります。

- 当院は古くなった病棟を10年掛けて建て直しており、本年1月にやっとフルオープンしたところで、これからというときにコロナが生じとても残念でしたが、新病棟がオープンして外来診療を4万㎡確保できて日本で一番陰圧室を多く持っていたので、コロナ対応を適切にできたと思っています。この時期の活動についてDVDを作り、本日持参しましたので時間があるときにご覧ください。

この度は本当にご支援ありがとうございました。

✚ NPO ゴールドリボンネットワーク報告

(同NPO法人理事長 東京新橋RC 松井秀文様)

- 当ネットワークは、小児がんの子どもたちを支援する活動をしています。小児がんとは、一般的に15歳以下の子供に起こるがん(悪性腫瘍)のことです。毎年2500人位が新たに発症し、今16000人が治療を受けています。小児がんの専門医は少なく、治療を受けられる病院は全国で200弱しかありません。

又、発育途上の小児に対して、放射線療法や化学療法を行うため、その後の成長の過程で合併症を発症することがあり、これを「晩期合併症」といいます。

- 当ネットワークは創設以来3つの活動方針を守っています。
 - ① QOL (quality of life) 向上のための支援(奨学金、サマーキャンプなど)
 - ② 治癒率向上のための支援(医療研究支援)
 - ③ 情報提供、理解促進(ウォーキングイベント、チャリティコンサート)

- ゴールドリボン奨学金は小児がん経験者の高校生を対象として、大学進学奨学金(月4万円、返済不要)を設定しています。今年は36人の奨学生に年間1036万、4年間で4400万円を支払っています。資

金捻出のために毎年マラソンイベントや歌手とのコラボイベントを開いて募金を集めていましたが、今年はコロナでイベントがすべてなくなり困っておいしたので、最近クラウドファンディングで500万円を目標として奨学金資金を集めています。クラウドファンディングの登録手続きで挫折する人が多いので、登録手続きで困った場合は我々がお手伝いしますのでいつでもご連絡下さい。



「米山記念奨学事業について」 (米山学友の思い)

米山記念奨学委員会 委員長
松尾 英子 様



【プロフィール】

1964年3月 清泉女子大学卒

1976年2月 (有)ジャスト設立

医療機器リース・不動

産管理

1997年 国際ソロプチミスト東京—広尾入会

2001年5月 東京渋谷中央RC入会チャーターメンバー

2004年—05年 東京渋谷RC会長

2005年—06年 国際ソロプチミスト東京—広尾会長

2009年—12年 地区米山選考委員

2014年—15年 地区米山推進委員長

2020年—21年 地区米山記念奨学委員会委員長

- 米山記念奨学事業のはじまり

1952年、東京RC古澤丈作会長が日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え後世まで残るような有益な事業を行いたいとして「米山基金」の構想を発表し、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業を東京RCが設立しました。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。

1957年に東京RCから全国のロータリークラブに参加を求めて、逐年発展し、今や全ロータリークラブの共同事業となり、日本で学ぶ海外留学生に対する奨学金の支給を通じて、国際理解と親善に多大の成果を収めています。

- 民間最大の国際奨学事業

2019学年度の奨学生数は868人、事業費は14億4千万円(2018—19年度決算)と、海外留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は21,023人(2019年7月現在)、その出身国は世界129の国と地域に及んでいます。

- 奨学生が決まるまで

6月 奨学会で地区割当数を決める。

- ① 寄付金収入予測に基づき全体採用数を決定(2020学年度860人枠)
- ② 下記782人を地区の対全国比で算出、さらに配当金分を案分し加えた825人を地区割当数とします。

• 2020学年度の地区割当数算出に使用するのは2017-2018年度寄付実績です。

7月 地区で指定校と被推薦者数を決める。

- 地区米山選考委員会は指定校を毎年選定します。
- 同委員会では、学校説明会を開くなど要望を伝え、奨学生にふさわしい留学生を推薦してもらうよう努めています。

8月 募集スタート

奨学会から指定校へ通知するほか、ホームページで指定校・募集要項を発表します。

8～10月 指定校での学内選考と申込み

奨学会で申込みを受け付け書類をチェック

応募締切：10月15日

11～1月 書類選考・面接試験

地区ごとに面接官オリエンテーションを実施し、全国共通の基準にしたがって面接選考します。

12～2月 地区の報告順に学校専用画面で「合格内定」「不合格」を発表。当理事会承認後、3月下旬に合格通知を学校経由で送付します。

4月 オリエンテーション

世話クラブ・カウンセラーとの初顔合わせ。確約書にサインし正式に米山奨学生となります。

• 奨学生の推移(全国)

昨年度は868名、本年度は883名、累計21,624名に上ります。

国別で多いのは(2019年)、中国339名、ベトナム135名、韓国80名、マレーシア42名、インドネシア36名、ネパール34名、台湾29名、モンゴル23名などですが、ほとんどの世界の各国について何人かずつ選考されています。

• 学友と学友会

大学(院)を卒業すると「学友」になります。学友は世界各国で活躍して日本との懸け橋になってくれています。

学友がある程度集まると「学友会」が組織されます。世界には9(台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマー)、日本に33の学友会があります。

• 世界大会

学友会の初めての世界的な集まりは、2016年、韓国のソウルで開かれ、333名のロータリアン・学友が集いました。2017年8月には第1回「世界米山学友の集い」が熊本で開かれ、ロータリアンと学友444名が集いました。第2回の大会は2019年7月モンゴルで「絆 IN モンゴル」として開かれ、学友と奨学生148名、ロータリアン263名が集いました。

2021年6月には、RI国際大会に合わせて6月12日に台湾の台北で第3回世界米山学友の集いが開かれる予定です。是非皆様参加下さい。

• 普通寄付と特別寄付

米山奨学会への寄付は普通寄付と特別寄付の2種類です。この事業は皆さまからの毎年の寄付で運営されています。また、地区の奨学生数はほぼ寄付額で決まりますので、継続的なご支援をお願いいたします。

【普通寄付金】

安定財源として、各クラブが決定した金額を会員数分、毎年全クラブから納入いただいています。

【特別寄付金】

個人・法人・クラブからの任意寄付。

金額に決まりはなく、ロータリアン以外の方からもお受けします。

普通寄付金の必要性

当事業は、毎年いただく寄付金だけで成り立っています。特別寄付金は任意寄付なので、年間800人以上にのぼる奨学金の安定財源として普通寄付金が重要です。また、1967年に財団法人の認可を申請した際、普通寄付金による一定収入が見込める旨文部省(当時)を説得し、国内全クラブから普通寄付継続の確約をもらうことを条件に設立許可を得た経緯があるためです。

地区年目標額 1億円

個人別寄付年目標額 2万円

2020年7月現在 地区会員数4396名(国内のみ)

- 本年度はコロナ禍のために奨学生の卓話も中止し、奨学生の出席もホストクラブのみとしております。そのため奨学生から直接お話を聞いていただくことができませんので、本日は米山学友からお話を伺って私がお伝えにまいりました。

ご清聴ありがとうございました。

(東京中央RC会長 太田嘉正様 ご挨拶)

- 何か喋って下さいとのご指名なので、一言申し上げます。
米山寄付については毎年何回か寄付して、100万円になると金のピンバッジをいただけるのを楽しみにしているのですが、まだもう少し先になりそうです。
- 私が3年程前に米山委員をしていたときに、10万円達成でも、感謝状に加えて色はともかくピンバッジを表彰して欲しいとお願いしたのです。

バッジを付けて活動していれば、何かと話題になり、「これは何のバッジ」などの会話になり、米山の啓蒙活動にも役立つと申し上げましたが、なかなか進んでいかない状態です。

- 当クラブは、昨年台湾の留学生のホストクラブになりました。彼女は都市大学を3月に卒業して、台湾

のニトリに就職しています。

又、本年度は、フィリピンの留学生パドレアンをお世話しており、渋谷のデザイナーの大学院大学で学んでいますが、将来自分のブランドを立ち上げてフィリピンで売りたいとの夢を持っています。

- 帝国ホテルの正面右側に植えられている友愛の樹は、東京RC60周年を記念してロータリーの創設者のポール・ハリスさんに招待来日していただいた時に植えたと言われています。是非ご覧ください。

(要約文責 宮下)



松尾英子様、柳田一行様

(米山記念奨学委員会)

米山記念奨学委員会、卓話にお招き頂きまして誠に有難うございます。どうぞ御協力の程宜しくお願い申し上げます。

松井秀文様

(東京新橋RC)

本日はお世話になります。

太田嘉正会長

(東京中央RC)

大変御無沙汰しております。本年度二回目のMake upです。引き続き宜しくお願い致します。

明山友美会員

先日入会された多田多延子さんが外務省後援で来年、“子ども世界平和サミット”を行います。

ピンクのお茶の利益を子ども達の平和学習のために活用させて頂きます。ご協力をお願いします。受付で販売中です。

石川和子会員

大盛敬子会員

秋晴れを期待してニコニコします。

理事会は欠席ですが、対面例会は楽しみにしておりますのでニコニコします。

岡田敏江会員

松尾様本日はお忙しい中卓話ありがとうございます。楽しみにしております。

海渡千佳会員

先日、久しぶりに家族で帝国ホテルの朝食を頂きましたが、食事は勿論、細やかなサービスも素晴らしいですね。皆さまにも是非おすすめします。

小沼百合子会員

先日のポリオの応援に参加できなかったもので本日赤い服着てポリオの応援します。ロータリーカードを作って使うとポリオに寄付されますよ。

白坂亜紀会員

浅野先生、本日は東京中央新RC例会へいらして下さってありがとうございます。

野呂洋子会員

すずしくなるとゴルフ日よりです。ひよこコンペ是非いらして下さい。次回11月12日です。

にここ合計 36,000円

例会報告 第788回 2020年10月12日(月) オンライン+対面例会

出席率 53.57%

出席と接続会員数合計24名+メーキャップ6名
(正会員61名-休会5名)

司会(上田美帆会員増強副委員長)

ロータリーソング

「手に手つないで」「世界をつなぐロータリー」

会長開会点鐘(清宮普美代会長)

10月10日土曜日に東京あけぼのRCの創立5周年式典に行っていました。

当クラブも来期は20周年になりますので、いろいろなイベントの内容とか会報をどうするか考えていかないといけないと思います。本日は例会後にクラブ協議会もありますので、皆様と共有していきたいと思います。それでは788回例会を始めます。

ゲスト発表(安原良昭SAA委員長)

対面・オンライン例会にようこそおいで下さいました。本日ゲストは、いらっしやいません。

ニコニコ

ニコニコはございませんでした。

幹事報告(高橋肇幹事)

- 10月19日(月)は例会はございません。
- 10月22日(木)にガバナー公式訪問合同例会となります。

合同例会ではゲストとメーキャップは受付ありません。

会長閉会点鐘(清宮普美代会長)

それでは788回の例会をこれにて終了させていただきます。

【第2回クラブ協議会】(司会 清宮普美代会長)

- クラブ協議会とは?(上田美帆会員)

クラブに関して活動の現状を知りつつ、今後の活動について共有したり意見交換をしたりすることのかなと思います。

- 今年度のクラブ協議会と予定

第1回 7月13日(オンライン)

各委員長の方針発表

第2回 10月12日(オンライン)

クラブ活動について

第3回 12月14日(ハイブリッド、帝国ホテル)

クラブ総会(決算、ノミネー選出)

第4回 2月8日(オンライン)

次年度奉仕プロジェクト提案

第5回 4月19日(オンライン)

本年度奉仕プロジェクト、懇親クラブ活動

第6回 6月7日(ハイブリッド、帝国ホテル)

委員長報告、本年の振り返り

• 委員会活動について

クラブの委員会活動は活動の根幹として、基本的に会員はどれかの委員会に所属します。委員長・副委員長職の重任は原則できません(委員は重複可能)が、会員が複数の委員会に所属していろいろな役割を分担することは可能です。

(各委員会活動の現況)

• 奉仕プロジェクト委員会(清宮普美代会長)

本日は、奉仕プロジェクト委員の参加がほとんどないので私が説明しますが、奉仕プロジェクト委員会はバラバラに動いている感じでまとまりが不足と思えます。副委員長もほとんど来ておらず、委員会としての活動が希薄なのかなと思えます。

• 組織委員会(海渡千佳委員長)

案件毎に打合せをしています、全体としては集まっています。

コロナが落ち着けば集まりやすくなると思います。

• 会員増強委員会(上田美帆副委員長)

多田会員の入会の際に集まって懇親の会をやりました。又、LINEのグループを作り意見交換をしています。今後リアル例会が増えれば委員会としての活動も増えていくのかなと思います。

• 会員選考委員会(石原忠始委員長)

入会申込者について職業分類規定に抵触しないかチェックして、理事会へ報告しています。各職業分類について、会員の10%が上限の人数になっています。職業分類規定は事務局に備えています。

• SAA委員会(安原良昭委員長)

11名全員でLINEグループを作り、対面例会では役割分担をお願いしています。オンラインでは私と吉国さんで十分なのです。新人の方は会員の顔と名前が一致するように受付などの役割をお願いしています。

• ロータリー財団委員会(山下江委員長)

今期委員会を開いて今までの活動とこれからの活動について話し合いました。飲食を伴う委員会活動に1人3000円の補助がクラブから出るシステムもあると聞いているし、各委員会は委員が集まって今期何をやるか話し合っていくべきですが、当クラブでは事務局におまかせしてきたようなので、今期から連絡網を作って委員たちの協議で活動をすすめるべきではないか。

• 広報委員会(宮下文夫委員長、山田桂子副委員長)

週報など紙媒体は宮下が担当し、デジタル関係・HPとかYouTubeとかは山田副委員長が担当しています。

デジタルは今年から始めているので、今HPを作りながら走っている感じで、清宮会長や宮下委員長

とも協議しながら3人でチームを作ってデジタル情報を共有してマニュアル化し各自が担当できるように頑張っています。

ブレイクアウトセッション

テーマ①

「このクラブのいいところ、変えたくないところ?」

テーマ②

「このクラブで新しくやりたいこと?」

リラックスして自由にできるだけ各会員に発言の機会を持って話し合ってください。

問題意識

年会費(32.4万円、寄付分含)の使途内訳(2020年6月発表)

例会費 55.55%(帝国ホテル)

固定費 21.6%(家賃・人件費)

寄付 7.4%(R財団、米山、義援金など)

広報 6.17%(週報 紙媒体、HP)

奉仕活動の原資は主にニコニコ約64万円とクラブ運営会計からの繰入金(100万円、2019年6月決算)

(結果報告)

• きもの同好会チーム(山田桂子会員)

様々な世代の会員がいて世代間の交流ができるクラブであること

コロナで早期にオンラインを取り入れ、新しい世代も多く入会してきたこと

IT得意メンバーとそうでないメンバーとの間に分断が生まれつつあり、この分断をまとめる取組が必要。

コロナの中で活動が続けるために一部の会員に負担がかかっているが、会員は皆本業を持っているのでバランスが必要で、事務局の役割が重要となる。

小さな集まりで対面し、オンラインでつながる形をとることで全体として集まりやすくなるのではないかな。

• 安原グループ

新人でも大事な役割を担うことはできるのはいい点。

改善すべき点は、出席率が低すぎるので入会時の新人への説明が重要。

• 海渡グループ

フラットな組織で発言しやすい。

女性が多いので発想の多様性があり、ビジネス的な尺度でない別の物差しがある。

対話を重視し、オンラインでも一方通行でない双方方向運営を心掛けている点。

色々な業種の人と交流できるので楽しい。

オンラインで可能性が広がり、遠方のクラブと交流するのも良いし、いろいろ良いところを参考にしたい。

奉仕活動の新しいやり方、関わり方を考えて継続的に活動が続けたい。

- 高橋グループ

女性比率が70%あり、きめ細やかな活動、柔軟で機動力高い。ゲストで来てくださった方にもフレンドリーで入りやすい。

新しくやりたいこと

- － 子どもたちのケア、山下ハルさんの活動をもっと大きくやっていければいいし、60名のクラブとして委員会活動を強化していければいい。

(幹事のまとめ)

とてもいい意見が出ていたので、2ヵ月に1回と言わず1ヵ月に1回でもいいと思う。皆様ともっとお話ができたらなと思いました。